

長岡市立劇場開館50周年記念

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会

レスピーギ ローマ三部作

光り輝く
ブラスの響きで
悠久の都
栄光のローマへ!

レスピーギ作曲：
交響詩

ローマの祭り
ローマの噴水
ローマの松

※吹奏楽編曲版

／他

佐渡裕による
長岡公演
スペシャル
オープニング
トークあり!

佐渡×シエナ

《ブラスの祭典★2023》

Sado:©Takashi Iijima
Siena:©Hikaru.☆

2023年 **11月5日** 日 14:00開演 [13:30開場]

長岡市立劇場 大ホール

料金(全席指定) **S席** ¥8,500 **A席** ¥7,000 学生(S席) ¥6,500 学生(A席) ¥5,000

※学生席は大学生以下、入場時学生証提示。規定枚数に達し次第販売終了。
※学生席はTeNYと長岡市立劇場、長岡リリックホールのみで受付。

リリックm.c.優先予約 7月13日(木) 10:00~18:00 (インターネット・電話予約のみ)
長岡市立劇場 0258-33-2211 長岡リリックホール 0258-29-7715

※未就学児入場不可。 ※ご予約・ご購入後の変更・キャンセルはできません。
※車椅子席をご希望の方は長岡リリックホールへお問合せください。
※駐車場に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用いただき、お時間に余裕を持ってご来場ください。

主催: TeNYテレビ新潟、(公財)長岡市芸術文化振興財団 制作: クリスタル・アーツ

一般発売 7月14日(金)

プレイガイド

◆長岡市立劇場 0258-33-2211

◆長岡リリックホール 0258-29-7715

発売初日の
窓口販売なし
9:00受付開始

◆ローソンチケット (Lコード:35025)

◆チケットぴあ (Pコード:246-001)

◆イープラス

電話予約・お問合せ

◆TeNYチケット専用ダイヤル
025-281-8000 (平日10:00~17:30)

◆(公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課
0258-29-7715 (9:00~18:00)

インターネット予約は
こちら



WEB予約など詳しくは **TeNY イベント** 検索

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会 《ブラスの祭典2023》

レスピーギ【ローマ三部作】

イタリア・ボローニャ出身のオットリーノ・レスピーギ(1879～1936)は、リムスキー＝コルサコフに管弦楽法を学び、更にイタリア古楽を熱心に研究しました。また民謡やキリスト教典礼音楽にも造詣が深く、唯一無二の作曲技法をもつ作曲家です。代表作【ローマ三部作】と呼ばれる《ローマの祭り》、《ローマの噴水》、《ローマの松》では、彼の作曲技術が最大限に発揮され、古代ローマからレスピーギの時代に至るまでの悠久のローマを、壮大な物語絵巻として鮮やかに描き出しています。

【ローマ三部作】は元々オーケストラ作品ですが、管楽器が大活躍しているため、吹奏楽編曲版もオリジナルと遜色ない迫力ある演奏をお楽しみいただけます。ローマの鮮やかな色彩、人々の熱気、ほとばしる水しぶき、勇ましいローマ軍など、きらきら輝くブラスの音色と躍動感あふれるアンサンブルは聴きごたえ抜群!特に《祭り》と《松》では、「バンダ」と呼ばれるオーケストラとは別働隊の、舞台外から演奏する金管楽器群が効果的に使われ、客席に降り注ぐ大音量と合わせ、視覚的にも大いに楽しませてくれます。

佐渡×シエナによる白熱の演奏を、どうぞご期待ください!

交響詩

『ローマの祭り』

古代ローマ、ロマネスク、ルネサンス、近世、というローマの4つの時代の祝祭を巡り、そこに生きた人間たちのリアルな姿を描く。

交響詩

『ローマの噴水』

ローマ市内にある4つの噴水をモチーフに、夜明け、朝、真昼、黄昏、という時間の美しい情景が印象的に表現される。

交響詩

『ローマの松』

何世紀にもわたるローマの“歴史の証人”となっている松の姿を通じ、古代ローマへの郷愁や幻想、そして栄光を讃美する、壮大な曲。



佐渡裕(首席指揮者)

YUTAKA SADO, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在はオーストリアで110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団の音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、大ヒット作の「ブラスの祭典」シリーズや、シエナと12年ぶりに録音した「バーンズ：交響曲第3番」(2022年6月発売、エイベックス)などがある。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)などがある。

2023年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団第5代音楽監督に就任。

オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



シエナ・ウインド・オーケストラ

SIENA WIND ORCHESTRA

1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地での依頼公演や文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演、多様なアンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。

2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを行うほか、最近では飯森範親、宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を広げている。2017年には狭間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも取り組んでいる。2010年10月から東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており、地域や教育機関と密着した活動にも積極的に取り組んでいる。CD・DVDも多数リリース。近年ではエイベックスから「佐渡×シエナ バーンズ：交響曲第3番」「ブラスの祭典BEST」、その他各社より「ファイナルファンタジーVII×ブラバン!!」、「ブラバン・ディズニー!～シエナ・スタイル～」など、いずれも大きな話題を呼んでいる。

オフィシャルHP <http://sienawind.com/>